

60周年を迎えて

令和6年11月1日 大和市文化創造拠点 シリウスホール 13時30分開式

第1部 記念式典 第2部 芸術鑑賞会「HANDSIGN」ステージ

ご多用の折、多くのご来賓の皆様にご臨席賜りました。感謝申し上げます。また、第1部の記念式典では、本校生徒会長より、「変化していくことの寂しさもあるけれど、変化に臆するのではなく変化を楽しめる生き方をしたい」と先輩としてのかかわりと後輩へのエールの話があり、私自身の心に熱く響きとても印象に残っています。「不易と流行」という言葉がありますが、60年間培ってきた伝統とそれを土台に新しい未来へはばたき進化していく本校を誇りに思う、60周年記念式典でした。

第2部の芸術鑑賞会では、「HANDSIGN」による歌とダンスのステージが繰り広げられ、会場のご来賓の皆さまと生徒の皆さんと HANDSIGN の皆さんと一体となった1時間20分でした。また、本校の60周年の記念品として作成したマフラータオルを会場の皆さんが音楽に合わせて振り回し、熱気に包まれました。「手話を通して、世界が一つになる」そんな瞬間を感じました。

60周年の記念品のマフラータオルのデザインは、本校生徒から募集し、投票により選ばれた3年生の生徒のデザインによるものです。同窓会の皆さまからの贈り物で、大切な生徒の皆さんの思い出いっぱいの宝物となることと思います。

令和7年度から看護科が普通科になりますので、看護科と福祉科の3学年がそろった記念式典は今回が最後となります。生徒の皆さんの記憶にいつまでも残ることを期待しています。保護者の皆さま、地域の皆さま、これまでの本校への皆さまのご支援に感謝するとともにこれからも本校への応援をどうぞよろしくお願いいたします。

最後に記念式典での校長の言葉を載せておきます。お読みいただければ幸いです。

「校長あいさつ」

秋の深まりを感じるこの良き日に、ご臨席の皆様、本校生徒の皆さんと創立60周年の記念式典を行うことができ、大変嬉しく思います。

また、本日は神奈川県教育委員会教育監濱田啓太郎様、本校学校運営協議会会長引地孝一様、第22代校長倉田寛様をはじめ本校歴代校長の皆さま、また、県会議員の皆さま、実習等でお世話になっている施設の皆さま、地区並びに専門高校の校長先生の皆さま、地区のPTA会長の皆さま、本校の歴代PTA会長の皆さま、旧職員の方々の皆さまと多くのご来賓の皆様にご臨席賜りましたことを心から感謝申し上げます。

本校は昭和39年、全国で初めての准看護師養成を行う衛生看護科の高校として開校しました。昭和42年には、神奈川県立衛生短期大学付属二俣川高等学校となりました。平成12年、衛生看護科1クラスを福祉科に改編し、平成14年には、社会情勢の変化もあり准看護師養成をやめ看護科2クラス福祉科2クラスとなり、平成

15年に現在の校名である「二俣川看護福祉高等学校」として、また全国初の進学型専門高校として現在に至っています。創立から60年、多くの生徒たちとともに歩んでまいりました。卒業生は8,800名をこえ、神奈川県看護・医療・福祉分野でヒューマンサービスを担う人材として活躍しています。

本校は「看護の心 福祉の心 奉仕の心」の3つの心を育む教育を柱に、豊かな人間性を育み社会に貢献する人材を育てる教育を実践してきました。「心身の健康」を維持し、人の命やQOLに係わる仕事に将来携わる生徒たちにとって大切な「責任と協調」、思いやる心や感謝する心を養い、「奉仕と勤勉」の志をもつ生徒の育成をめざしてまいりました。

本校には60年の歴史に培われた伝統が多くあります。「創立当時から使用している木造の下駄箱、校舎内に残る掃除ロッカー、本校を象徴する紺色の制服、やまゆりの校章、グラウンドのわきの桜並木・・・」たくさんの思い出がつまっています。先日創立当時の看護教育の雑誌の記事を読む機会がありました。新しい看護教育を高校で実践する看護教育のパイオニアであることの記事でしたが、その記事にある本校の校門、校舎、全てが現在とかわらない姿でした。実習室の様子も理科室の様子も現代につながっています。これはのちの本校福祉科においても神奈川県の福祉教育を担うことにつながっています。この伝統という礎の重みを改めて感じたところです。

そして、60年の伝統としてつながっていることに校風があります。落ち着いた環境のもとで学びに真摯に向かう生徒の皆さん、何事にも一生懸命向かう姿勢、やるときはやるという姿勢が日々の生活で見られます。昨日、スポーツ大会を実施しました。本校では、昨年度から運動会として各種目を行います。そして、今年は4色の団にわかれ実施しました。初めて応援合戦も行いました。実習や進路、修学旅行などがある中、3年生を中心に作り上げました。また、圧巻だったのは綱引きです。1・2年生の時には3年生が3年生の時には1・2年生が声をはりあげ一体となって応援をしていました。そこに本校の先生方も加わり、団結力と笑顔のある素晴らしいパフォーマンスで私も感動し、自然と大きな声を出していました。

また、新たな本校の大切な歴史の1ページとなりました。この校風は、一朝一夕に培われたものではありません。先輩から後輩へ脈々と培われた大切な本校の伝統だと思います。

「夢を広げ 夢に近づく」これからも生徒の皆さんは、同じ志を持つ仲間と切磋琢磨して楽しく学校生活を送り、将来は神奈川県のヒューマンサービスのよき担い手として活躍することを願います。

本日60周年という節目を迎えられたことはこれまで支えてくださった皆様のおかげです。そして本校は令和7年度看護科が普通科になり普通科3クラスと福祉科1

クラスの学科併置校となり、校名も「二俣川高等学校」となります。60周年を終え、人間でいえば還暦を迎え、新たなスタートというところです。

伝統を継承し未来へ羽ばたき進化する。「看護・医療・保健等分野への進路意識を高める教育を実践し、支援する」特色ある普通科と、志を高くもち知識とスキルを身に付け将来に向けて頑張る生徒たちが集う福祉科として新しくスタートします。地域社会に愛され信頼される学校づくりに尽力してまいります。

そして1年1年、生徒の皆さんとともに歴史の新たな1ページを重ねていきたいと思えます。

結びに、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申しあげるとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、挨拶とかえさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

※ 追記

上記文章を用意して当日臨みました。生徒の皆さんと向き合っていると、用意していた原稿はどこへやら・・・という状態となりましたので、当日のお話はこれをベースに違う話になっていたことと思います。温かい気持ちでご容赦いただければ幸いです。



←グランドから見た桜並木
生徒の学び舎【教室棟】→

